

本報 まつやま

'76 12

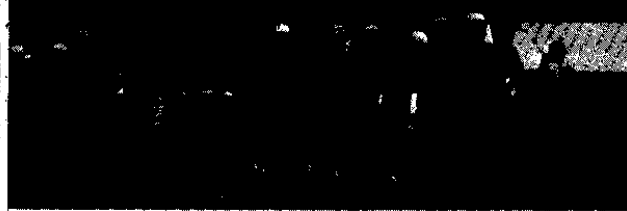
No. 57

□発行 / 新潟県松之山町 □編集 / 議会事務局

本格化した
▼広域林道
(中原)



▲降って降って大変 (1月20日)



▲ジェンカのリズムで梅雨もどこかへ



▶松高生冷害で遅れた農家へ応援
(10月12日 読売新聞社提供)



▲ばあちゃん、いつまでもお元気で
(9月15日 下畝池 重野カクさん100才)

人口のうごき (昭和51.12.1現在) (内は同年8月比
人口 5,769 (△41) 男 2,829 (△16) 女 2,940 (△25)

目でみる町のふところ具合

五十年 一般会計

くるしかったんですよ、やりくりが

昭和五十年度は不況の嵐が吹きまくる中で出落し、地方財政は危機感と喝えられ、景気政策の抑制型から一転して膨張型へ変るなど、厳しいと同時に大変むつかしい年でした。

このような状況下で町の財政は松里町の総合政策始め町道の改良はもとより自然休養地事業が最盛期をむかえ、結果として前年度比で十三%余の伸び、赤字門を突破するといふ超大型の決算となりました。

決算の収支では一億二千百万円の黒字を計上し、実質的に単年度収支で七百九十九万円の黒字ということになりました。

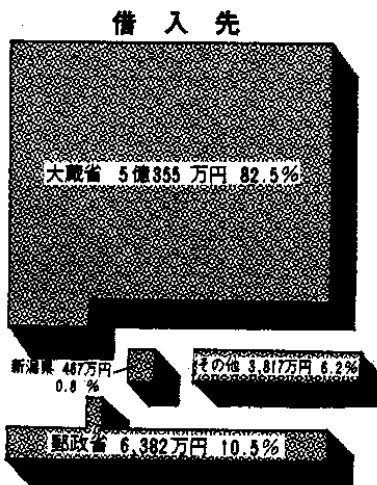
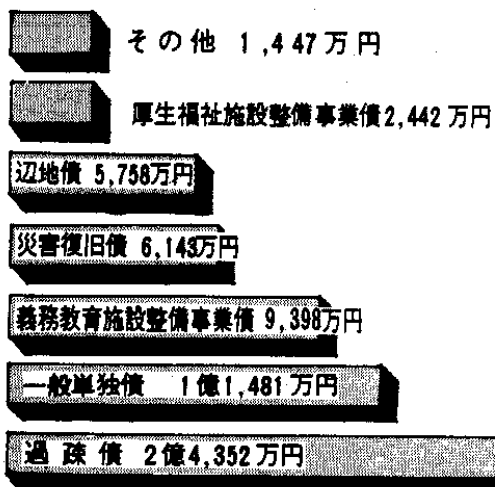
財政内容では、町税の伸び幅に加え、一億四千以上の増徴を計る地方交付税も十六%の伸びにとまり、県家にいるたもののやはり新しい財政運営となりました。

(注) 単年度収支とはその年度のみにあつた実質的な収支の差引きをいいます。



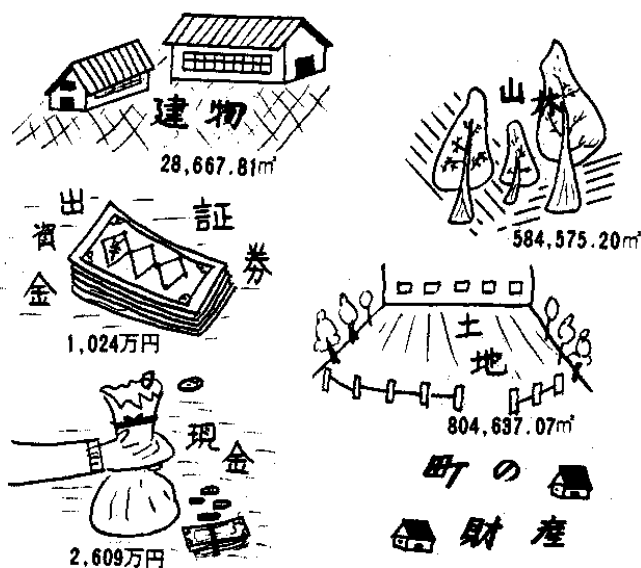
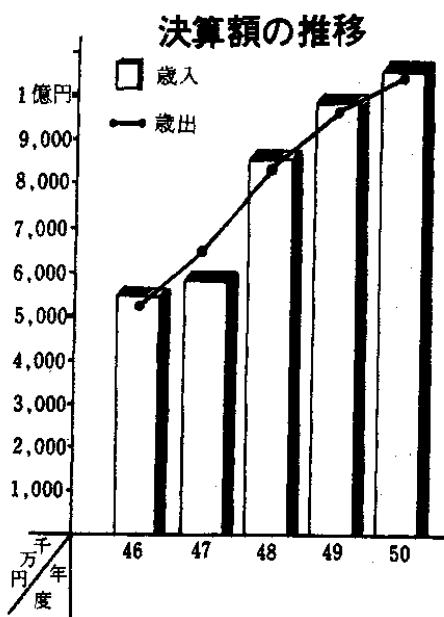
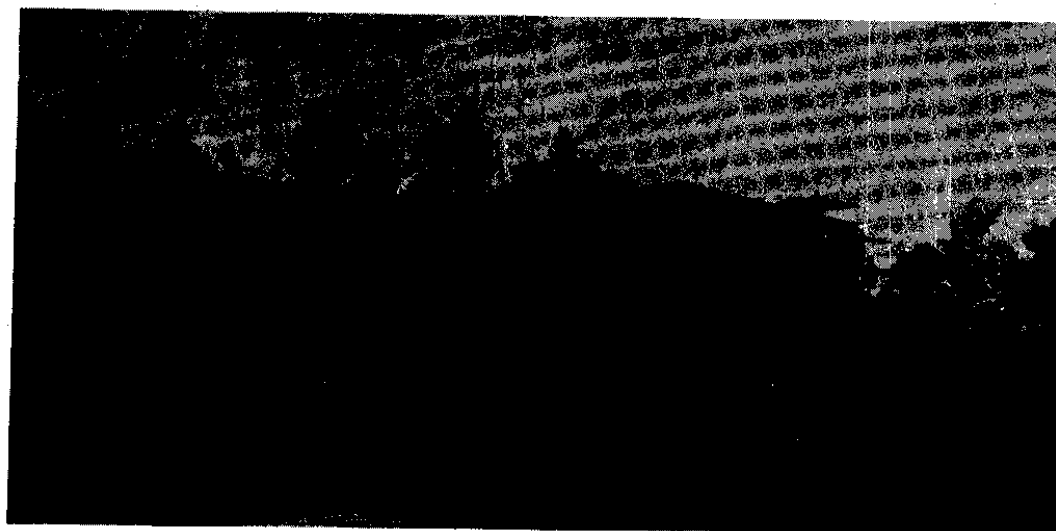
衆議院議員選挙得票結果		参議院補欠選挙得票結果	
木島喜兵衛	三三一	伊藤千穂	四八二
白川 勝彦	二四四	塚田十一郎	一九〇四
須藤友三郎	三四八	吉田 正雄	五三八
高島 修	一〇一八	総 数	二九二四
大竹 太郎	一一六〇	投票率(例六六、六二%)	
塚田 徹	二九一	約七四、四三%	
総 数	三四九二	約七〇、七九%	

町債の状況



借金上手は
やりくり上手?

松里小・校舎改築事業





▲松代・松之山線舗装事業 (新山地区内) 2,437万円

▶林道天水越線二、一二五万円



▶大荒戸・松代線道路改良 (大荒戸) 一、七二九万円



▶崩田、田妻立線道路改良 (月池) 一、二九二万円



▶松之山小学校舗装 一、一二三万円



▶歴史を
十文字遺跡の発掘 (黒倉地区内)



特別会計決算の状況

区分 会計別	歳 入			歳 出			差 引 繰越額
	昭和50 年度	昭和49 年度	対前 年比	昭和50 年度	昭和49 年度	対前 年比	
国 保	万円 25,556	万円 21,328	% 120	万円 24,873	万円 20,780	% 120	万円 683
松之山 診療所	16,773	15,346	108	15,346	16,386	(△6) 94	1,427
浦田診療所	2,831	2,594	109	2,817	2,591	109	14
松之山 地区簡水	753	2,694	(△72) 28	748	2,851	(△74) 26	5
湯本簡水	201	128	157	182	84	217	19
湯山簡水	129	503	(△74) 26	76	487	(△84) 16	53
農業共済	2,920	2,796	104	2,732	2,589	106	188

※農業共済会計の繰越額は同会計で業務引当金繰入として処理されています。

(△) は落ち込み率を示す。

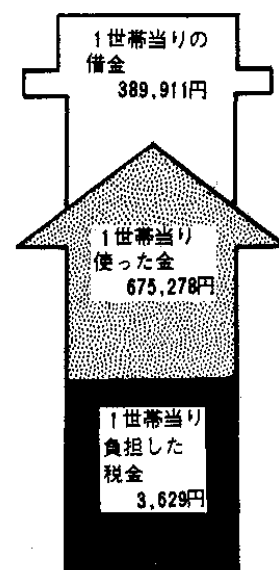
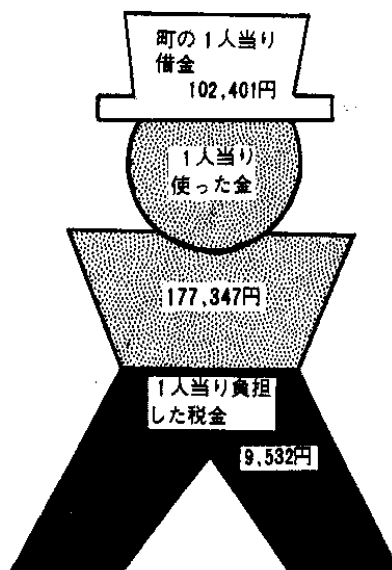


もうすぐ お正月

あと何日も待たずにあなたのお父さんなどが正月帰省につかれます。

町の財源に占める「たばこ消費税」は、厳しい財源難の中で唯一の期待できる収入として、皆さんにご協力をお願いします。

正月などで里帰りされた方に一箱でも松之山のたばこを買って行かれるようお勧め下さい。



税別 区分	町民税	固定資産税	軽自動車税	たばこ消費税	電気・入湯・その他税
50年度決算額	1,956万円	1,896万円	287万円	941万円	600万円
1人当り税負担	3,282円	3,182円	482円	1,579円	1,007円

(人口 年平均 5,834人)

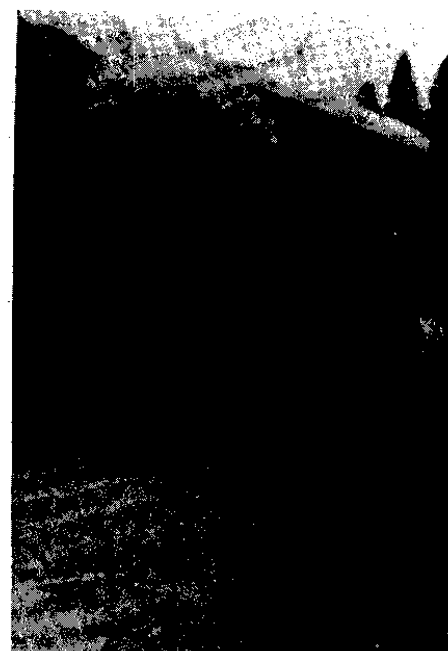
「いやな税金も使い方を知っていたら、ご協力いただける」と、思っただけで色々な事業を行ってききました。

その税金にもこんなに種類があり、ご覧のようにご協力いただきました。

税にも
いろいろあります

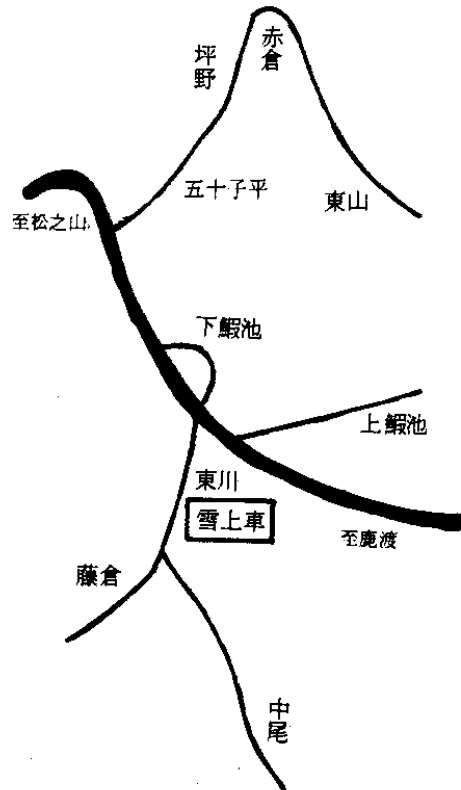
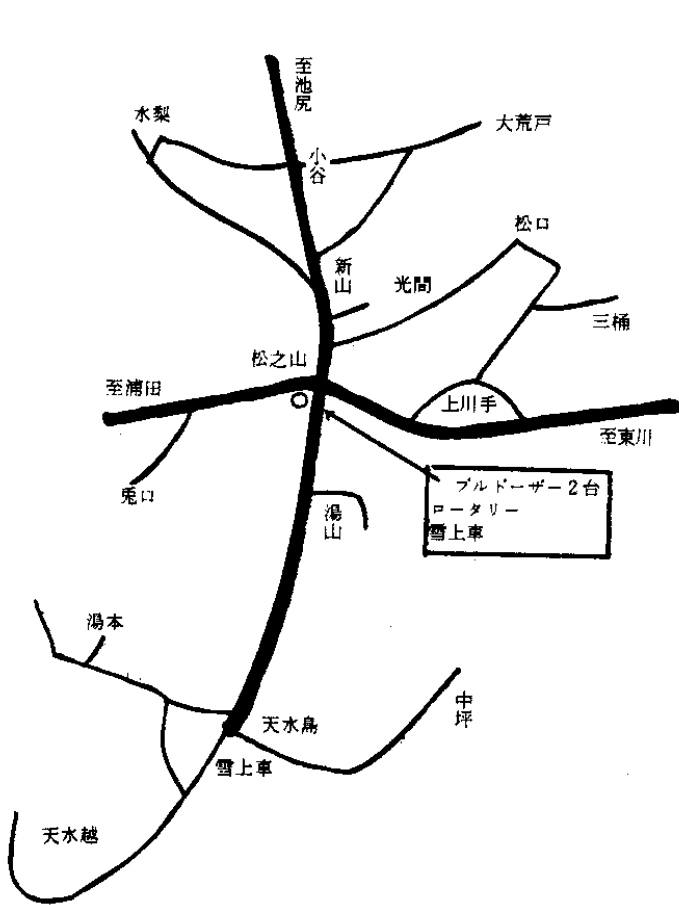
50年度の おもな事業とその費用

○克雪管理センター建設事業 (浦田) 2,769万円	○町道改良事業(四線) 5,289万円
○老人いこいの家取付道路舗装 (天水越) 100万円	○〃舗装事業(三線) 3,591万円
○火葬場炉体改修 135万円	○県営事業負担金 1,262万円
○町単田ならし事業 387万円	○ロータリー除雪車 1,470万円
○自然休養村事業 4,231万円	○消防々火水槽(月池・光間) 312万円
○造林事業費 1,010万円	○松里小学校々舎改築工事 9,571万円
○林道天水越線開発事業 2,607万円	○町道災害復旧工事 683万円
○林道小沢東山線開設事業 1,920万円	○田麦立地区農地災害復旧工事 765万円
○一般農道東山線開設事業 3,038万円	



▲克雪管理センター(上の山)
2,769万円

の闘い 万全を期す



—172—

この冬行方国県道及び町道の除、圧雪計画が決まりました。年毎にみなさんのご協力いただいた成果がみのり、実施路程も延長されております。今一度、この除雪などを支障なく進めるため、お互いが注意し一層の協力をし合います。

◎自動車又はその他除、圧雪の作業に障害となる物を道路路上に放置することは絶対に止めましょう。
◎路上で車が故障し駐車する場合は、赤布を立て最寄の駐在署や除雪センターに連絡して下さい。

◎屋根などの雪は、道路に出さないよう注意し、出す時はその旨をそれぞれの所へ、連絡をとってから出すようにしましょう。

寒はおだやか

この冬は寒暖の変動が大きく厳寒期は比較のおだやかな日が多い見込みです。
▽十二月 冬型が時に強まりますが、中旬頃には一時寒さがゆるむでしょう。
平均気温は並みで、また日照は並みないし、少なめの見込みです。
▽一月 比較的小しき曇り日が多く、一時冬型が強まるでしょう。平均気温、日照とも並みでしょう。
▽二月 寒気団の勢力も弱く、穏かな日が多いでしょう。平均気温は高め、日照はやや多い見込みでしょう。



老後のしあわせ 農業者年金

一月から大幅な改正

農業者年金の法律が一部改正になり、来年一月分から年金額や納付保険料が引上げられますが、そのあらましは……

月額二万六千円が支給

まず経営移譲年金では、今春二月から支給が始まった五年間加入された方に支給される年金

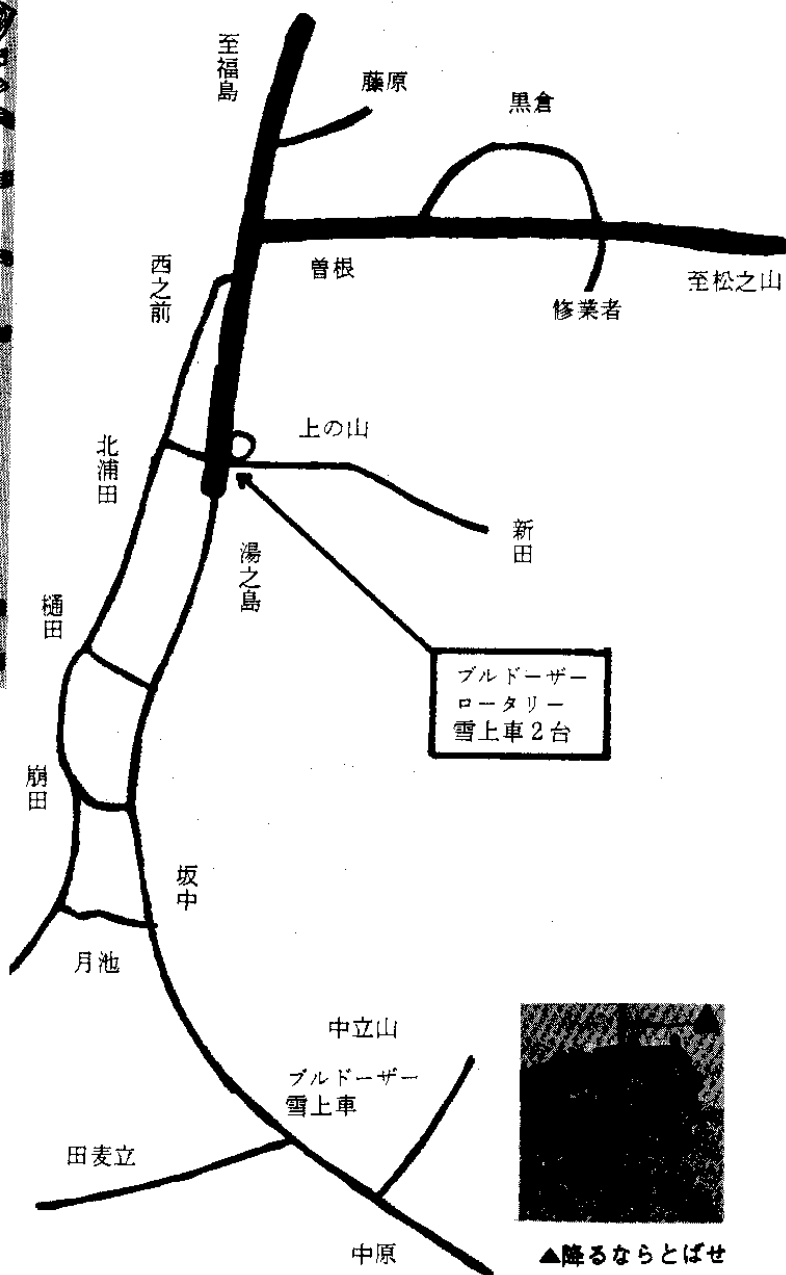
額は、月額で八千四百円引上げになって一ヶ月当り二万六千円になります。
この方達に六十五歳から支給される農業者老令年金の計算基準になる額も、二百十円引上がつて六五〇円になります。

保険料は二本立

年金額の引上げに見合うよう加入者が積立てる保険料も、増額されて一ヶ月当り、別表のようになります。
一方、改正の目玉は保険料に減額措置が仲間入りしたことでは、次の三点が挙げられます。
▼三十五歳未満であること。
▼申出の時に後継者として指定された者で、農業者年金に加入し、耕作反別が百十アール以上の者。
▼耕作などに常時従事する者。
これらの全要件に該当した方に限り、保険料の減額措置が申請によって適用されます。

実施年月	区分	一般の加入者	軽減措置適用加入者
昭和52年 1月分～12月分		2,450 円	1,750 円
昭和53年 1月分～12月分		2,870 円	2,050 円

雪と



▲降るならとばせ
ロータリー

五年 高橋和美
きよ年の十二月、やっと新しい学校で勉強ができるようになりました。

それまでは保育園で勉強していましたが、せまくて運動もあまりできませんでした。

勉強も作業をしてつぶれたりだいぶおくれました。早く新しい学校へ入りたいと思っていま

四年 福原小百合
三年生の時、下の保育園のところで勉強した。

特別教室もないところだった。やっと新しい校舎ができてひつこしの日をむかえた。

その日は、わたしたちのつくえや、重い荷物をそっていった。そのうちに給食になった。

その時はもうつくえがないのでゆかにすわって食べた。

やっとなれた校舎なのに、又らがったところへ行く、うれしかったがすこし不安であった。

又、新しい使い方をならわなければならぬ。

頭の中がこんがりそうだ。給食が終わって、わたしたちの仕事はいすを運ぶことだった。

運んでいては、又坂を下つてきました。おかあさん達もいっしょうけんめい車に荷物を積んでいきました。

いすが終わると、うえきばらどか、水そうとかを持っていきま



した。

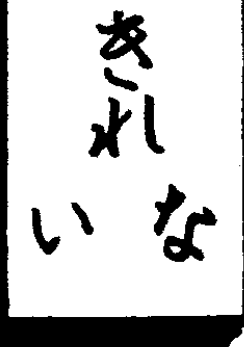
十一月の終りごろやっと新しい学校に入るじゅんぴを始めました。つくえやいすを運んだり、ダンボールを運んだりしました。

重くて、手がいたくなったりしたけど、もうすぐ新しい学校に入れると思うてがんばりました。

新しい学校に入っても十二月中は作業をだいぶやりました。

けれど、もうここがわたしたちの学校なのでうれしかったです。

した。そして玄関のところに置きました。



「くつのきれいな人は、この荷物をもって教室にはいりなさい」とおっしゃった。

荷物を置いてから、きよろきよろすべるろうかを歩きながら教室を見て歩きました。

最初は二階には何年の教室とどんな教室があるかわかりませんでした。

でも三学期になったら、全部わかるようになりました。

もう、三学期になったら作業はあんまりやらなくて勉強が進みました。

体育かんは古いので教室で遊びました。

冬はダンボウが入っていてあったかいからです。

十二月までの冬は、ストロブであんまりあったかくありませんでした。でも、ダンボウはあ

次の日から新しい校舎で勉強しました。

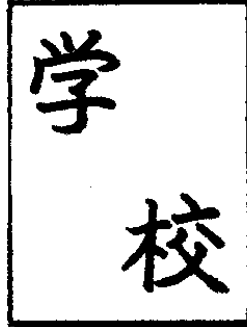
また苦勞したのは、百周年と文化祭でした。ステージ開きで

四年生は、マット運動をするというので又、元の体育かんへと

びばこや、マットを持って行きました。

その中でバスが道を通れなくしていたので、重い道具を持って道をあけるまでまわっていました。

毎日のように練習にはげみました。



ったかくていいです。

新しい学校にはおく上もあるし、つくえやいすも新しくなりました。

教室は少し小さいけど、ゆかがきれいだし、新しい学校に入つてとてもうれしかったです。

古い学校だと、一年から六年

きました。

わたしはどきどきしていました。いつだったかおかあさんが

「東川、松代、松之山の学校はもう百周年おわたのか」とい

いました。

「おら、知らねよ。おら学校は校舎たてたすけ、おくれたあだ

ね」といいました。

前にもどるけど、見も知らない人達がたくさんいらっしやっ

の教室はみんなつながっているけど、新しい学校は三学年ずつわかれてるので、あんまりうるさくありません。

わたしたちの学校だけど、てい学年がこれからも入ってくるので学校にキズをつけたら、き

たなくしたりしないようにしたいです。

けど、そのうち出るまくがきたのです。

わたくしたちはこてきに合わせておどりました。そのうち早苗さんがぼろしを落としました

たのです。

やっと終って着がえに行くけど樋口先生がいらっしゃって、「パ

トン、じょうずだったよ」といわれました。

わたしたちはかいだんをのびりながら、礼子さんが「あれ、

おせじだらう」といいました。

そうだな、やっていると中どじをしてしまったからと思いま

した。



二年 たかはしみゆき

わたしは、体いくかんがなかったとき、きょうしつで本をよんだり、ろうかでおにごっこかしてあそびました。

わたしは、体いくかんができたとき、とても嬉しかったです。体いくかんにはじめてはいったとききかったです。

シャワーしつとか、ようぐおきばとか、ステージ、ひかえしつをおしえてもらいました。

広いところて思いきつてあそんだり、体いくができるので

三年 佐藤昌代

松里小学校ができて百年。わたしたちは、新しい校舎で勉強することがあります。この新しい校舎にきずをつけたり、き

たなくしたりしないように気をつけようと思います。

この校舎は大工さんや、電気屋さんや、やくばの人や、地区の人など大ぜいの人がつてくれました。

今までは中ん堂の小さな寺やさい木でできた学校でした。中でもようち園の近くにあつ

ても楽しいです。

わたしは、体いくがそんなにすきではありません。

つなのぼりと、ボールをなげたり、とつたりするのがてです。でも、体いくかんがて

てから休み時間にあそびにい

広くて

た学校は地すべりのためにこちらの学校へひっこしてきたそうです。

でも、今はてつきんコンクリートでできています。

体育かんがてけるまでは、ようち園の体育かんや、グラウンドで体育をやっていました。

体育かんがてけるまでは「早く見てな」と思っていました。文化の日、文化さいのよういで学校へ行きました。その時はじめて新しい体育かんへ入ります。

ます。

それから、おどりのけいこをしたときとてもいきもちでした。それにてんじようが高くてボールをなげてもどきませんでした。そのときはおどるき

これからは、あたらしい体いくかんであそんだり、体いくをして体をきたえたいと思います。

いちねん さとうこずえはじめてたいいくかんにはいつたとき、わたしは「ひろいなーしゅうまわつてこ」とい

まして、はりました。

みどりとか、白とか、赤とかきいろとかのながしかくや、まのせんがありました。

わたしは、みどりのせんの上をとんでいきました。

した。そうしたら、ゆかはびかびかでワックスがぬつてあるように見えました。

ステージには赤いまくみたのがあり、まん中が広いので。それから、ゆかにはいろいろな色のせんがいはいありました。入り口の方には、男子と女子のこいうい室がありました。

こいうい室へ入つてみるとシャ

私の

赤いはんぶんのまゐの上は、あるいてきました。

「あれ、そこにドアがあつた。」と思ひました。はいつてみました。シャワーがありました。

ほそくて、くろいホースがありました。

ぼつぼつのあなのあいたシャワーがありました。

はつこいでした。ロッカーもありました。

となりのへやもおんなじくなくていました。

「どつちが女だろ」と、わたしがいいました。

左にまたドアがありました。

六年生がマットとか、とびばがあるよと、いいました。

ゆかを見ました。

「すべつこいやねかな」と、おもひました。とんでいつて、けつすべりました。ひざをべちやんこにしてすべりました。

「おもしろい」と、いいました。

三年生も、四年生もすべっていました。

先生がきました。だからとんでなびました。

お礼のことば

松里小学校長 高橋 渡

創立百周年の記念すべき年に、激しい財政事情の中で、児童・職員、地域住民の長年の悲願であった鉄筋コンクリート三階建ての新校舎、鉄筋構造の広い体育館を竣工させて下さった町当局、町議会、町教育委員会並びに町民各位に学校を代表して深甚な敬意と感謝申し上げます。

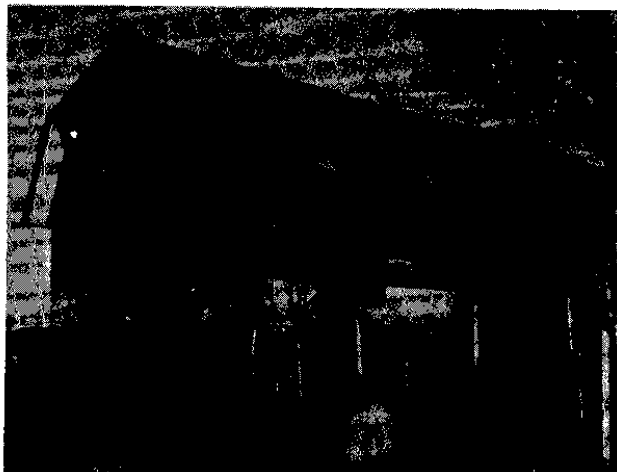
次頁下段へつづく

保資金は な力です

「郵便局の簡易保険」として親しまれている簡易生命保険積立金は、町が実施するいろいろな事業に融資され、私たちの福祉増進、地域社会の発展に寄与しています。

このように「簡保資金」は、公共の利益になるよう運用され加入者への生活向上にも役立っています。

今年度この融資を受けて行った事業は左頁のとおりです。



▲牧場のシンボル (大巖寺原牧場書舎)

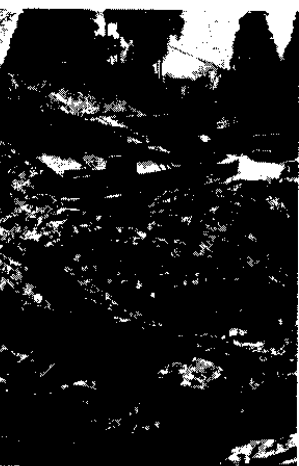
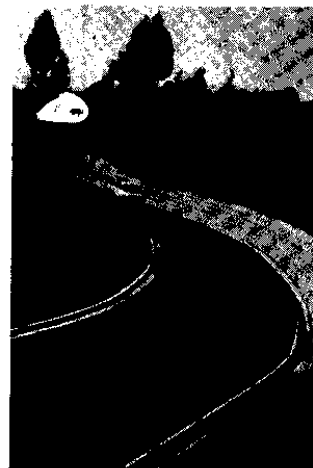


▲やっと雪上車も通れます (中尾)



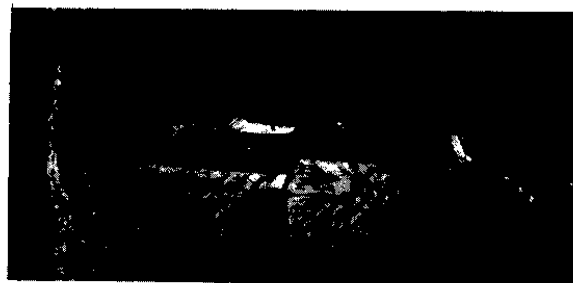
▲民家の特徴を生かした資料館 (湯山)

▶スピードがちがうネ (月池)



▲農免農道 (菅根地内)

▶温泉、駐車場 (湯本)



▲千枚田は昔。今は一枚約五アール(畝)に。(藤倉地内)

ぼくたちは今まで運動場のない生活をしてきた。ろう下でボールをついたり、音楽室で野球のまわをして、先生にしかられたり、又せまい図書室で朝会をしたり、体育をするために学校の下にある旧中学校の運動場まで行ったり、それは不便だった。しかし、それももうすぐ終りに体育かんができた。

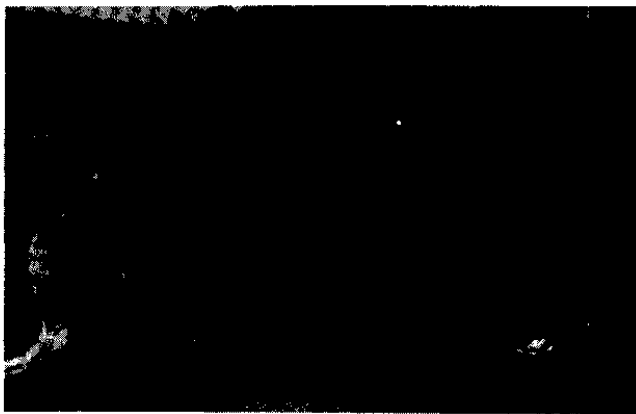
次頁へ▼

六年 滝沢 里

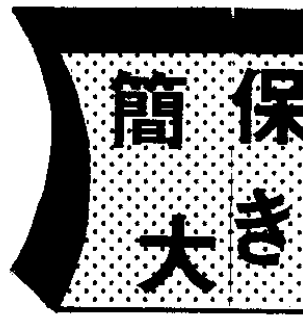
町民のみなさん、本当にありがとうございます。私達職員一同は、百年の伝統の上に教育本来のねらいを見失わず、竣工なった整備された教育環境を活用して、明日の郷土松之山町を担う児童の育成に一層の努力を傾ける所存でございます。



▼前頁より
教育は本来、将来に向かって成長していく児童一人一人の可能性を開発していく営みであります。



▲ 自然休養村農道（湯山地内）

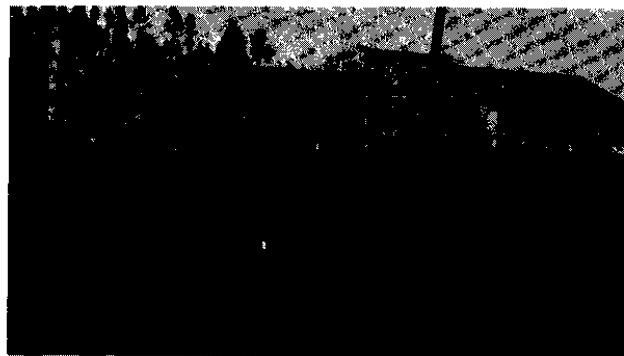


〔事業名〕	〔簡保資金借入予定額〕
自然休養村農道改良、舗装（湯山）	1,140万円
農業経営近代化施設（大巖寺原牧場畜舎）	1,180万円
町道松口松之山線舗装（光間）	1,300万円
林道天水越線開設（天水越）	430万円
林道小沢東山線開設（東山）	270万円
農道東山線改良（東山）	370万円
消防施設（消防自動車）	250万円
簡易水道（松里地区）	300万円
県営農道整備負担金（菅根線）	500万円
同（天水越線）	260万円
駐車場舗装（湯本）	510万円
義務教育施設整備（松里小校舎及び屋体）	2,890万円
〔合計〕	9,400万円



◀ 完成した松里小

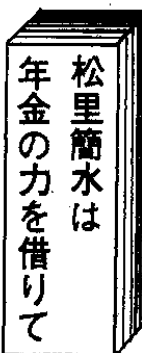
▲ いよいよ難関に……
（天水越林道）



一時恩給（一時扶助料）の請求は忘れずに

昭和五十年の法律改正で、引き続き（連続）実在職年数が三年以上七年末満で、兵階級であった方にも一時恩給が支給されることになりました。まだ請求

をされていない方は、なるべく早めに請求して下さい。
請求手続等詳しいことは町役場の住民課福祉係へお問い合わせください。



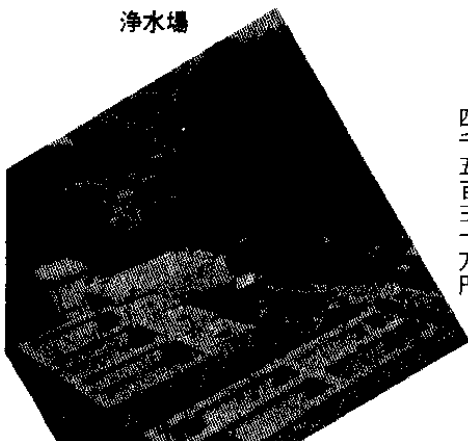
みなさんが納めた国民年金保険料は、住宅、道路の建設や上下水道など生活環境の整備等に還元融資され、住民生活の安定と福祉の増進に重要な役割を果たしています。

松之山町で本年度実施した「松里簡易水道」は、この年金還元融資を受け、近く完成します。皆さんの一人ひとりの力がこ



▲ 楽だネ、舗装の上は（田麦立）

▼ 松里簡水の浄水場

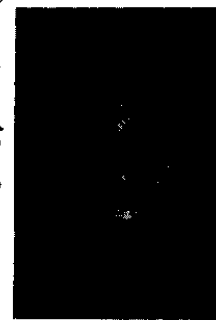


国民年金資金融資額
松里簡易水道事業
四千五百三十万円

のような施設の建設に大きく役立てられているのです。

ぼくはこの体育かんを大切に
使おうと思う。

つくり中に入った。
そこは、天国にでもいったようなどても広く、天じようが高く、ゆかにはつるつるすべり、光ってきれいだった。



▲ ぼくたちは体育用具を体育かんに運ぶことになった。
ぼくはいすを持っていきそれで体育かんにむかった。
ぼくはどきどきしながら、ゆ

村いちばんの

働きもの

新田

丸山清一さん

働き者。八丁に八丁。

とにかく驚くこの人は、丸山清一さん（新田・柿の木・三十八才）

耕作反別百四アール、出荷米六十二、五俵の内三等米が実に六十二俵。

葉タバコ耕作は、三十九アール。出荷量一、二〇〇kgで百四十万円余りの粗収入。

この他に子牛の生産を二頭。筆者が訪問したのは八月下旬。葉タバコの収穫にてんやわんや

の頃、丸山さんの努力でもやはり天候の不順には勝てなかった。とってきた葉タバコを編み乍

ら「いつもの年だと三日位吊しておけば、干し上ったが今年は半月吊しても駄目で……」と嘆

く。なる程吊したのを見ても、まだ緑褐色で一寸しおれた程度。となりで作業を手伝っている

奥さんもあきれたように「本当に困ったものダ、そのハウスに干びようをほせば、三日位で仕上る位温度が上がるのに」と。

かいてくる程生育が進まないのに加え、仕上りも良好とはいえない今年の葉タバコ。

こんな具合だと代金も思うようにいかないでしょうネ「葉がこのとおりいつまでも水々しくては……」と笑いながら話してく

れる顔にもどこか心配が隠せない様子。ところで葉タバコは何年位前から始めたのですか。

「松之山地じりの頃だすけ十二、三年になるかの。」

その頃といえば、町で荒れた地を何とかということでも新井専売の特別の力入れて今日に至ったスター作目。

この時以来栽培し続けているのは、丸山さん位ではなからう

— 175 —

か。

「始めは五人共同で出発して、暑いといっちはアイスをかじり、たまには検討会と称し、ビールを飲む……」といった具合で「その年は赤字もよいとこでした。」

大体の要領を身につけ翌年から個人でやるようになったのだけど、始めは本当に手のかかるものだ」と思ったと語る。

二人の労力で田圃、タバコ、牛と良く働くものですネ。

「あ！まあ一諸になることはねすけの」

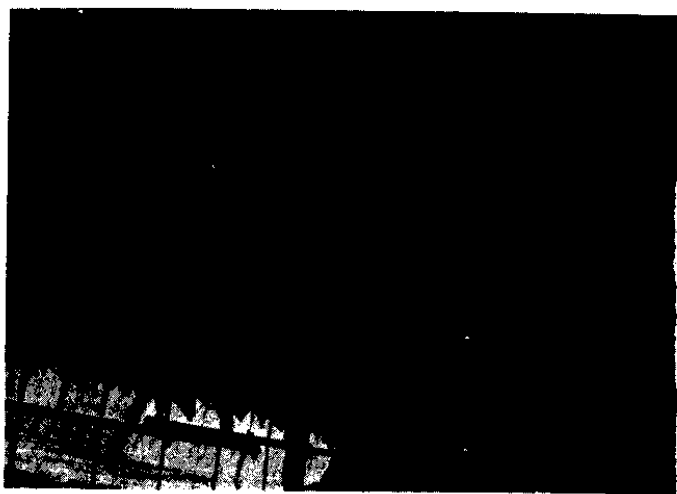
働くだけではこんなに仕事を消化出来ない。

同級生でもある農協の南雲課長は、「段取りの良さは、管内でも一番でしょう」と語ってくれた。

一方、丸山さんの近所でこの仕事ぶり、段どりのよさを見て久保田イさんは、「まあ、年頃からしてもくたびれを感じない油がのった盛りだろうでも、とにかくよく稼ぐし又、かあちゃんもたっしよで父ちゃんの後をついてくるし、そうかといっ

て、ちゃめ(朝食前の仕事)や、よなべ(夜間作業)もしないようだし、算段がいいがだの」と不思議がる。「そんなに働いても、家の中はいつ行ってもキッチンと片付いている」と驚く。

この丸山さんにもう一つの愛育がある。



▲半月も吊しておくのに、このありさま……

感電事故にご注意

雪おろしをする時は、引込み線や、トランスなどに雪をあてないように、又電線やトランスには、絶対近寄らないように注意しましょう。

事故が起きたらすぐ、左記へ

東北電力 松之山出張所

でんわ 二〇〇八番



町教育委員のかおぶれ

教育委員の高橋忠正さん（天水島）が任期満了になって、後任に福原一雄さんが就任されました。

なお、次の五名の方が町教委として、活躍されております。

○山岸定佐久（新山・かみ）
福原 一雄（天水越・耐屋）
▼久保達司（新田・権せん）
村山吉太郎（坪野・東屋）
◎相沢太嘉治（水梨・たせん）
（◎印は委員長、○印は同職務代理者、▼印は教育長）

着任にあたって

十二月一日午前十時にダイヤル式自動電話への切替に伴い無事、電報電話局が発足いたしました。

これもひとえに町の皆様方並びに関係各位の深いご理解と、ご協力によるものと厚くお礼申し上げます。

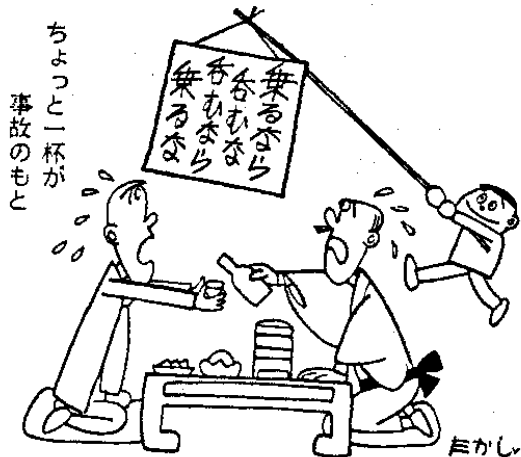
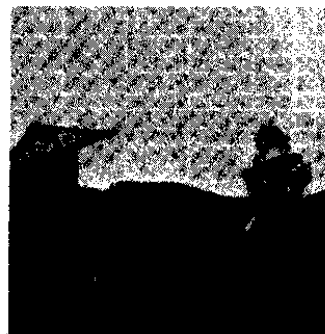
開局を機に局長以下職員一同、町における電気通信部門の担当者としてご当地に相応しい電話サービスの向上に懸命の努力を重ねてゆく決意であります。従来の電々公社業務を取り扱

十月一日付で就任された方々です。（敬称略）

本山 勝治（田表立・宮下）
村山 隆一（松之山・宮下）
村山 邦一（橋詰・上の山）
田中勇治郎（西之前・親家）
志賀 武二（松口・長前）
山口竹之助（藤倉・がに原）
津端 正（光間・有田）
早川 数市（北浦田・田中）
○村山 清（赤倉・新屋）
滝沢 義夫（天水越・大井）
なお以上十名の公選者に加え

新人の改選 農業委員の8名

議会及び農協推薦の五名の方は次のとおりです。
相沢善一（議会産業委員）
◎樋口藤夫（松之山農協）
山岸英司（松里農協）
小野塚正（布川農協）
保坂行雄（蒲田農協）
（◎印は委員長、○印は副委員長です。）



冬交通事故防止運動12/11～1/10

戸籍謄・抄本の請求は使いみちをはっきりと

十二月一日から戸籍の謄本や抄本を不当に使用されることを防ぐため、請求のしかたが改められました。他人の戸籍や、除籍の謄抄本を請求するときは、それを「何に使用するのか具体的に」示していただくことになり、その使用目的によっては交付を、お断りすることになります。又、郵便で請求される場合は手数料を必ず「現金書留」か「定額小為替」で送って下さい。

瞳ちゃん 喬くん おめでとう

今まで人名用の漢字として用いられてきた「当用、人名用の各漢字表」の中にあるほか、新しく次の漢字が加わりました。

佑、允、沔、喬、伶、悠、旭、杏、梓、梢、梨、沙、渚、璿、瞳、紗、紘、絢、翠、耶、芙、茜、葵、藍、那、阿、隼、鮎、の各文字で、先の人名用漢字表に追加されたことになります。

離婚しても

姓はそのまま

婚姻して氏を改めた人が、離婚しても、離婚後三ヶ月以内に所定の手続きをすることによって、婚姻中に称していた氏（姓）をそのまま称することができるようになりました。



ありがとうございました

共同募金

お金 63万円と
米 341 kg

松之山町
社会福祉協議会



診療所からのお知らせ

▶入院付添さんの食事について
申出により、米を持参された方に1食当り30円で炊いてあげています。

▶代行医師の診察について
五十嵐医師が不在(3日以上)の時勤務される先生も、土曜の午後、日曜、祭日には診療いたしません。

▶薬を飲む方、洗濯をしたい方のために蛇口、物干場が完成しました。

▶年末年始の休診について
29日(休)までは平常どおり。
30日から1月3日まで休診。
4日から診療を再開します。
(4日は火曜日で、湯本出張日)

新婚さん

相沢一郎	水梨	林
光間	穂居	
高沢精一	湯本	滝見屋
鶴田ユウ子	岡山県	
保原正明	天水越	弥助
保坂ヒサ子	松口	保屋
高橋直道	天水島	庄べえ
中島登志子	水梨	金塚
田辺 馨	新田	藤せん
福原さみ子	坂下	せぎ
本山直藏	田麦立	下だん
渡辺恵子	長野市	
南雲敏雄	坂中	となり
高沢育子	湯之島	上の山
小野塚明	湯山	下屋
高橋美津枝	天水島	孫甚
村山昭雄	藤内名	東屋
小野塚留美子	中坪	田中
山岸利通	新山	上
志賀政子	松之山	志賀野屋
小口平次郎	松之山中	道
樋口 政吉	兎	口寺屋敷
村山 政平	光	間田中
山岸 ツイ	新山倉	の下
中島竹次郎	水	梨庄七
涌井 平治	小谷	
志賀 正雄	松	口松島屋
高沢与三郎	湯本	五枚田
小野塚源太郎	湯山	土橋
滝沢 トミ	天水越	日の出屋
福原伊佐雄	坂中	
高橋 セツ	天水島	鴨田
田辺慎二	慎一の三男	松之山
滝沢信也	信栄の長男	"
田辺幸恵	栄次の三女	"
山岸美貴子	達宏の長女	新山
志賀一誠	秋夫の長男	松口
" 恵美	勝栄の長女	"
村山高志	良一の長男	橋結
大野靖教	博の長男	観音寺
小口珠生	公夫の長女	湯山
滝沢友紀	幹夫の長女	天水越
高橋 カウ	中	尾彦院
" 石松	"	久善
重野 ツヂ	上	鰻池家持屋
小野塚吉三郎	"	七えん
渡辺 竹松	東	山新宅
尾花 喜作	曾	根日の出屋
竹内 チヨ	湯之島	吉屋敷
山口 トイ	"	徳之助
石塚 万蔵	湯之島	六えん
樋口 キン	田麦立	下方
佐藤 リキ	月	池長の助
保坂 春吉	月	田との院
本山喜太郎	樋	田切通
" フカ	北浦	田桶屋
滝沢初太郎	天水越	彦藏
佐藤源太郎	"	鹿島屋
高沢 ツギ	湯本	五枚田
佐藤 ヨシ	中立	山後
早川 モト	月	池堂



おくやみ

うぶ声



編集さろん

◎昨今の流行語に「手づくり」がある。

ほかの分野では、技術革新が進んでいるが、この広報編集については百年一日の如く、変化なし。ともあれ、少しでも努力してみたが、さて結果は。

◎今号は、皆さんに町のふところ具合をご披露しました。年の瀬も間近か。日を重ねるたびに財布が軽くなりはいませんか。

◎正月、帰省された方に「ふるさと松之山」の幸を充分召し上って頂き、春までの頑ばりに備えてあげて下さい。

◎本文の活字を大きくしてみました。いかがでしょうか。(山口記)